

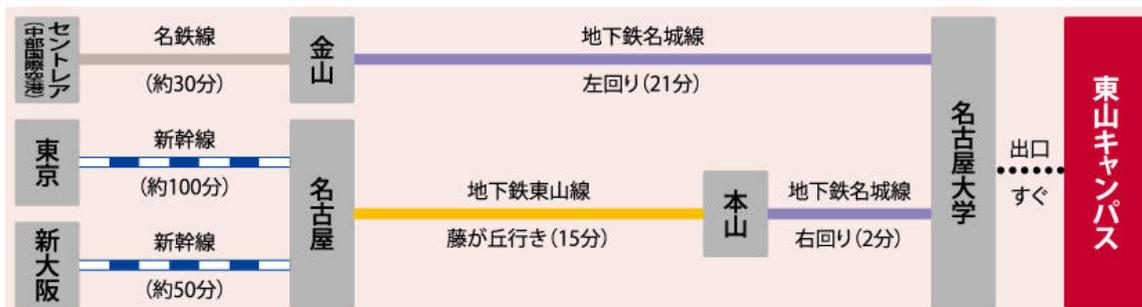
第10回熱帯気象研究会 2018年9月25-26日
名古屋大学 IB電子情報館1階 IB011講義室

9月25日 (火)			
13:00-13:10	はじめに		
13:10-13:50	増永 浩彦	名古屋大学	A mechanism for the maintenance of sharp tropical margins
13:50-14:30	柳瀬 友朗	京都大学	Diurnal Variation of Simulated Cumulus Convection in Radiative-Convective Equilibrium
14:30-15:10	石山 尊浩	東京大学	Pacific Meridional Modeとインド洋のSSTが北太平洋の熱帯低気圧活動に与える影響
15:10-16:10	休憩&ポスターセッション		
16:10-16:50	高野 雄紀	東京大学	NICAM-isotopeによる水の安定同位体比と熱帯降水特性に関する研究
16:50-17:30	巢原 夢加	名古屋大学	全球衛星データ解析にもとづく積乱雲ライフサイクルの地域特性
9月26日 (水)			
9:00-9:40	高須賀 大輔	東京大学	YMC-Sumatra 2017 で観測された4-6日周期の大気擾乱とMJOとの関係
9:40-10:20	末松 環	東京大学/ 北海道大学	Background SST and moist processes for realizing the MJO
10:20-10:40	休憩		
10:40-11:20	中江 寛大	東京大学	北半球夏季季節内振動の北進とSSTの関係
11:20-12:00	澁谷 亮輔	海洋研究 開発機構	全球雲システム解像モデルを用いた北半球夏季季節内振動の予測可能性
12:00-13:30	昼食		
13:30-14:10	高橋 洋	首都大学東京	A preliminary study on reproducibility of rainfall characteristics in CMIP5-GCMs over the tropics
14:10-14:50	神澤 望	首都大学東京	大規模アンサンブル実験による夏季アジアモンスーン降水量の年々変動とその極値の将来予測
14:50-15:30	横山 千恵	東京大学	A study on future projections of precipitation characteristics around Japan in early summer combining GPM DPR observation and CMIP5 large-scale environments

ポスターセッション			
9月25日 (火) 15:10-16:10	飯田 大晴	富山大学	熱帯域東インド洋における地域による水蒸気変動特性の違い
	奥川 椋介	富山大学	SCALE-RMを用いたスマトラ島西岸の沿岸降水帯に関する数値実験
	内木 詩歩	富山大学	ひまわり8号高頻度観測から同定した熱帯域雲システムの日変化
	大類 大地	東京大学	GPM-DPRを用いた浅い対流の統計的解析

会場案内（名古屋大学 IB 電子情報館 1階 IB011 講義室）

名古屋大学東山キャンパス



- ・名古屋市営地下鉄（名城線・東山線） <http://www.kotsu.city.nagoya.jp/jp/pc/subway/>
- ・名古屋鉄道（名鉄） <https://top.meitetsu.co.jp/>

名古屋大学 IB 電子情報館

地下鉄名城線名古屋大学駅3番出口から、エスカレータを昇って左手に直結する建物に入り、そのまま廊下を直進し左手一番奥（カフェの手前）が研究会会場のIB011講義室です。ポスターセッションは、講義室前のプレゼンテーション・スペースにて行います。

